

2025年1月吉日

2025年 年頭所感

トヨタホーム株式会社
代表取締役社長 後藤裕司

2025年の年頭にあたり、新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は、バブル期以来の大幅な賃上げや設備投資の増加など30年続いたデフレ経済からの脱却の動きが見られた一方、物価高の進行や2024年問題として顕在化した輸送費、建設費の上昇、人手不足への対応など住宅業界を取り巻く経営環境は厳しさを増した一年でもありました。

そのような状況のなか、当社は本年4月から中期経営計画フェーズⅡの最終年度に入ります。フェーズⅡでは、CS基軸経営をベースとして、「既存事業の磨き上げ」と「新しい事業へのチャレンジ」を掲げ、収益力のさらなる強化と事業ポートフォリオの多様化を推進しています。コア事業である新築戸建住宅では物価高への対応として普及価格帯の商品の充実を図るとともに、国が新たに主導する高い省エネ性能を有する『GX志向型ZEH』住宅の商品を投入してまいりました。

また、まちづくり事業においては、埼玉県草加市で“東洋一のマンモス団地”の再生事業となる全373区画の戸建分譲地の開発を産官学連携でスタートし、「多様な世代がつながり、学び、活き活きと暮らせる」新しいコミュニティづくりにも取り組んでいます。

さらに、新しい事業分野として、企業寮の建設・賃貸事業、駅前の再開発事業、物流施設の開発・運営事業を展開するなど、次の道を見つける取り組みにも着手しています。

当社は、おかげさまで本年8月に創業50周年の節目を迎えます。「日本の住まいをよくしたい」という創業の精神を振り返るとともに、これからも未来への種まきと挑戦を続け、プライムライフテクノロジーズグループの一員として社会課題の解決に取り組むことで成長を果たしてまいります。

末筆となりますが、皆さまには健康にご留意いただき良き一年となりますよう祈念いたします。

以上